

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.421
2026.10.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル 4 階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
E メール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 岩永康代
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制（ローテーション）**
生活者ネットワークの議員は、交代制。
議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。
議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。
お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。
みんなでカンパ（金）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

都政情報

■都議会第3回定例会：9月18日～10月8日。決算特別委員会：10月9日～12月3日。常任委員会「事務事業説明・質疑」：10月中旬～11月下旬。

地域ネット

江戸川ネット

どうする親の介護？ どうなる自分の老後？
10月18日（日）14：00～ タワーホール船堀306
会議室（船堀駅）500円 03-5607-5975

中野ネット

視覚障がい者サポート機器展示会「サイトワールド2026」見学会
10月23日（金）10：00 中野駅北口改札集合 会場：すみだ産業会館サンライズホール（錦糸町駅）
交通費実費 主催：中野区触地図の会 03-5942-6793

府中ネット

府中平和まつり前夜祭
10月24日（土）18：30～ 市民活動センタープラッツパルトホール（府中駅）「映画 〇月〇日、区長になる女。」上映とトーク：東本久子さん 1000円
主催：実行委員会 042-360-4443

練馬ネット

国際紛争と私たちの暮らし 日本国憲法を活かした外交で平和を
10月31日（土）14：00～ 石神井庁舎会議室1・2（石神井公園駅）講師：猿田佐世さん（新外交イニシアティブ（ND）代表・弁護士）500円・18歳以下無料 03-3993-4899

葛飾ネット

おひとりさま時代の『終活』と『身寄り』 おまかせにしない老後の備えと、自分らしいライフデザイン
11月1日（日）14：00～ かつしかシンフォニーヒルズ別館ビジュアルルーム（青砥駅）講師：沢村香苗さん（日本総研創発戦略センターシニアスペシャリスト）03-5876-4757

中野ネット

輪読会 池田賢市著『ケースで考える人権のある教室』
11月19日（木）10：30～ 中野・生活者ネット事務所（中野駅）主催：中野区地域協議会 03-5942-6793

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



7月23日、生活者ネットメンバーが昭島市立光華小学校のプレーパークを見学。シンボルツリーのクスノキの前で。光華小プレーパークの看板。裏庭には地域にも開放されている学級園の畑。保護者やボランティアが作った巨大ハンモック

「子どもたちの権利を保障し、地域とのつながりもうみだす学校プレーパーク」
学校としては、プレーパークはあくまで Agency を具現化する一手段の位置づけですが、子どもの遊ぶ権利の保障やプレーパークの必要性を訴えてきた生活者ネットワーク関係者とともに、「学校設置のプレーパーク」について聞く視察が実現しました。
学校設置のプレーパークの特徴は、予め大人が環境面での危険性は取り除いた上での「自由な遊びの保障」です。子どもにとっては、「まずやってみよう！」を日常的に体験でき、一人で余白を持つことも認められる、つまり自分があるままにいられる場であること。また、教員にとっては、「子どもの『やってみよう！』を



昭島市議会議員
ワーク市議会議員
林まい子



見守る」体験をする場でもあること。さらには、近隣の幼稚園・保育園や、卒業生・保護者をはじめとする地域住民との緩やかなつながりと連携までうまれる場ともなっているなど、プレーパークを通じて、子どもの遊びの保障や Agency の育成にとどまらず、学内外に好影響がもたらされていることが、数々のエピソードからわかりました。
子どもにとって遊ぶことは生きることそのもの。プレーパークを通じて、今後は遊ぶことの重要性や子どもたちの権利について地域でさらに理解を深める契機としていくことも期待しますし、この貴重な地域の財産を維持していくための人材配置なども提案していきたいと考えています。
学校はもっと楽しい場所になる！ 地域とともに育むプレーパークや教育

デジタル社会の進展とAI化に、 私たちはどう向き合うか その1 監視社会が進む!!

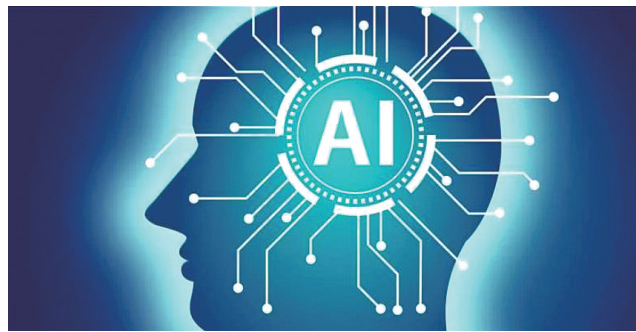


いまAIの利用が加速しています。何かを調べたり、相談すると、すぐ答えてくれます。AIをめぐるのは、そのようなプラスの側面が強調され、その背後で起きていることに目を向ける人はほとんどいません。しかし、社会に及ぼす影響は大きく、確実にその負の影響は広がっています。

いま社会は急速に情報に依存するようになりました。政府はこれからの社会を「Society5.0」と位置づけ、スマート社会を目指すとしていますが、その主役がAIです。日々、さまざまな情報がインターネットを通してクラウドに集積され、それをAIが解析、その解析を受けて動く社会になってしまいました。

私たちの日常でも、スマート家電の使用が増え、依存が進んでいます。しかし、その使用は情報を提供することになります。例えば、自動掃除機はそのまま自宅の内部の情報を提供することになります。現在、電気、ガス、水道のスマートメーター化が進んでいますが、これもまたその家庭の行動様式を外部に伝える役割を果たしています。プライバシーが知らないうちに冒されているのです。

特に問題なのが、国家に情報が集中し、マイナンバーを軸に市民を対象に、犯罪、所得、思想、病気まで含めて、一生を管理する強力な管理国家がつくられようとしていることです。その先頭に立つのが、新たに設置された国家情報局です。米国や中国など管理国家ではすでに一般化している手法に、市民の監視システムがあります。スマホのアクセスを利用して情報を入手、追跡も



監視カメラを駆使することで容易にでき、それらをAIが総合的に判断し、「怪しい」と判定した人物を徹底的に監視します。

AIの普及はまた、人間の思考能力を奪い、入力と出力があるだけの社会をつくり出しました。国家権力から見ると大衆操作が容易になりました。膨大なウソやデマが駆けめぐりようになり、個人攻撃など激しい攻撃が広がるようになりました。それが差別や人権侵害を拡大しています。かつてナチスはユダヤ人を標的として徹底したキャンペーンを行い、大衆を一つの方向に動かしましたが、いまは民族主義やナショナリズムの高揚、移民などの弱い立場の人たちを攻撃して、国民を結束させる動きとなっています。危険な社会に誘導していると思いませんか。（次号「その2」につづく）



天笠 啓祐 ジャーナリスト

まずやってみよう！私の学校は私がつくる——昭島発
学校にプレーパークができた！

子どもたちが主体者となり、これからの時代を幸せに生きていく。そのために必要な力を公教育でどのように育むか——常に問い続けながら歩んできた、昭島市立光華小学校の果敢な挑戦を、「保護者としてみてきました。これからの時代に必要なのは、社会を自分で変革する力 II Agency（エージェンシー）」を遊びを通して育みたい、自分の責任で自由に遊ぶプレーパーク（冒険遊び場）を校庭に設置した同小学校を、改めて視察しました。

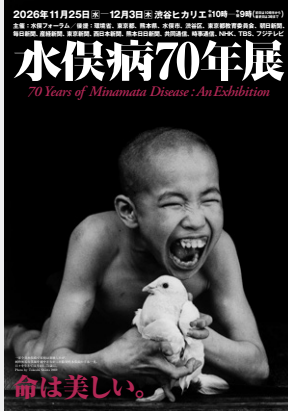
昭島市立光華小学校の究極の教育目標は、「複雑で予測困難な2030年の世界を生き抜くために必要な力」とOECD（経済協力開発機構）も位置づける「Agencyエージェンシー（同校の言葉でいうと『社会を変革する力』）」の育成です。何回失敗してもいい。自分の力で変えていく経験を何より重視しています。

このことを常に土台において学校目標は、「まずやってみよう！私の学校は私がつくる」であり、校内研究テーマは『光華遊学』遊ぶように学ぶです。「遊び」に価値を見いだしながら、教科横断型学習、自由進度型学習、プロ

Information

水俣病 70 年展

11月25日(水)～12月3日(木) 10:00～21:00 (初日は10:30から、最終日は15:00まで) 渋谷ヒカリエ9階ホール(渋谷駅) ◆展示 メイン展示/患者遺影/実物展示/写真展示/美術展示/事件史の証言コーナー/展示説明会/水俣病ブックフェア/水俣物産展 ◆ホールプログラム 「私と水俣病」―患者さんのお話から:9企画ほか/水俣病の映画から考える:上映と講演6企画 チケット:一般=当日1800円、前売1400円、10枚つづり券10,000円、フリーパス10,000円 30歳以下=当日1000円、前売700円、10枚つづり券5000円、フリーパス5000円 小学校4年生以下および障害者の介護者は無料 入場券1枚で展示に1回入場できます。ホールプログラムの入場には、1プログラムごとに1枚の入場券が必要 認定NPO法人水俣フォーラム TEL03-3208-3051 メール mf1997@minamata-f.com https://npo.minamata-f.com/



光華小のシンボルツリーである大きなクスノキの下に遊具があり木陰もつくっている。

※千葉大学大学院園芸学研究所木下勇研究室による調査



校舎裏庭の学校園を見学、文書資料で、光華小の取り組みは、都として事例集への掲載ほか、区市町村等への周知をしていると確認した。



▲三坂教授により、豊富な調査データを基にした「暑熱適応のまちづくり」について学びました
▶周囲に樹があり、風通しの良い築山の上は、涼しい



編集後記／9月11日、経産省前テントひろば主催の「脱原発・経産省前大集会」に参加。2011年3.11の東電福島第一原発事故発生から半年後の9月11日、経産省の一面に市民有志がテントを建て、継続した訴えの拠点とした。テントが強制撤去された後も、毎日、経産省前の歩道での座り込みが取り組まれている。この日のゲストスピーカーの一人、落合恵子さんは「人の命を亡くすものを無くす。当たり前の生活を返せと叫ぼう」と語った。／さかのぼる9月6日、日比谷で実行委員会主催による「脱原発・再エネ推進アクションスタート集会」が開催された。基調講演は小出裕章さん。各方面からのリレートーク、Yaeさんの音楽ライブがあった。集会後、参加者らは大雨の中、銀座通りをパレード。これからも「原発いらない」の声をあげ続ける。(上坂)

都議会REPORT

都議会第2回定例会代表質問を契機に
昭島市立光華小学校校庭プレーパークを視察

東京・生活者ネットワーク都議会議員

岩永やす代 [国分寺市・国立市]



都議会第2回定例会の代表質問(2026年6月16日)で、「子どもの遊びと幸福度の密接な関係」に着目し、遊びの意義や重要性について、東京都の認識を質しました。都からは「子供は遊びを通じて友達同士で関わり合いながら、様々なことに自ら挑戦することによって、実社会で生きる力を育んでいく」との答弁を得ることができました。

子どもにとって遊びは「いのちのしくみ」

日本では、平日に外遊びをしない小学生が78%、放課後に一緒に遊ぶ友達がいない子どもが18%にのぼるという調査結果があります(※)。にもかかわらず都内の公園では、近隣からの苦情などを理由にボール遊びなどの禁止事項が増え、思い切り遊べる広い場所が減っているのが現状です。

東京都では2021年に制定された「こども基本条例」を根拠に、子どもの意見を反映した遊び場づくりやプレーパークの実施、子どもの居場所づくりが広がっています。しかし、子どもが一人でできる身近な場所としてはまだ十分とは言えず、特に都心部では広いスペースの確保が課題となっています。

こうした中、昭島市立光華小学校では校庭の一角をプレーパークとして開放し、在校生だけでなく地域の子どもたちも自由に遊ぶ取り組みが進んでいます。

また、近隣の子どもたちもプレーパークで遊ぶことができ、校舎の裏庭には学級園もあります。保育園の子どもたちがお散歩で訪れ、水やりや収穫を体験するなど、地域と一体となった運営が行われていました。

光華小学校の取り組みは、子どもたちの主体性と好奇心を育む、まさに「遊びと学びがつながる」実践でした。視察で得た内容は、第2回定例会文書質問として活かしました。東京都と自治体をつなげながら、こうしたワクワクする取り組みを広げていきます。

べる取り組みが進んでいます。「東京都子供の遊び推進プロジェクト」にも採択されています。

子どもたちの「遊び」を地域とともにつくる

光華小学校では、学校運営の基に「子どもの権利」が位置づけられており、プレーパークは、その理念に基づく活動の一つとされています。2026年度学校教育目標は「まず、やってみよう!」私の学校は『私が』つくろ!」。校庭プレーパークは、まさにその延長線上にある取り組みだと感じました。

校庭の一角には、ダイナミックに遊べる遊具やハンモック、大きな木の下のウッドデッキなど、手作りの遊び場が広がっています。放課後だけでなく、休み時間や始業前の朝の時間に1時間ほど遊び込んでから授業に向かう子どももいるそうです。遊び込むことで集中力が高まったり、学年を超えた集団で遊ぶ経験が学校生活にもよい影響を与えているとのことでした。

また、近隣の子どもたちもプレーパークで遊ぶことができ、校舎の裏庭には学級園もあります。保育園の子どもたちがお散歩で訪れ、水やりや収穫を体験するなど、地域と一体となった運営が行われていました。

光華小学校の取り組みは、子どもたちの主体性と好奇心を育む、まさに「遊びと学びがつながる」実践でした。視察で得た内容は、第2回定例会文書質問として活かしました。東京都と自治体をつなげながら、こうしたワクワクする取り組みを広げていきます。

まちにいい日陰をつくる!!

東大和ネット暑害対策プロジェクトの活動から



東大和・生活者ネットワーク市議会議員
関あや子



毎年、夏の猛暑が続いています。東大和・生活者ネットワークでは、毎夏の猛暑に対し、木陰の涼しさをまちづくりに活かしていけないかと考え、「暑害対策プロジェクト」を立ち上げました。

まちの気温を知る調査ポイントは、人工芝の運動場/通学路/遊具がある公園の3カ所

「不要不急の外出を避けてエアコンを適度に使用すること」以外に何を提案できるかを話し合い、まず、根拠となる気温の測定を行いました。測定場所は、一昨年できた人工芝の運動場、通学路、子どもの遊具がある公園、の3カ所

を選び、夏休み直前、晴天の午後、熱中症指数計(黒球式)を使用して測定しました。その結果を提案に活かすため、暑熱環境に適応したまちづくりを推進している、武蔵野大学工学部サステナビリティー学科の三坂育成教授を講師に、学習会を開催しました。当日は、市民の他、岩永やす代都議会議員や他地域の議員も参加し、「いい日陰」を探すヒントをたくさん学びました。

地球温暖化とヒートアイランド現象の2つの影響で気温が上昇していること、昨年度の熱中症による救急搬送者は10万人を超え、死亡者の9割が高齢者、うち室内で亡くなるケースが9割などのデータを基に、熱中症になるしくみと対策を学びました。熱中症指数は31℃を超える「危険」とのことですが、私たちが測定した運動場や公園でも、日向では31℃を超えているところも多くありました。

暑さは、熱中症のリスクが高くなることと同時に、外出や外遊び等の「機会の損失」につながる

連続した日陰空間の確保と、風通しのよいまちづくりを!

ること。また、風通しも重要で、まちの中に、連続した日陰空間を作り、風通しのよいところができること、外出の機会も制限されず、人の賑わいも期待できます。新潟県の雁木と呼ばれる雪対策の底は暑熱環境対策にも有効であることや、アーケード街や高架下の活用を見直したということを周知することも効果があり、すでにあるものの活用を考えられないか、とのことでした。まちの中には暑いところと涼しいところが点在している、それを測定して、連続した日陰が作れば、機会の損失も減り、まちの賑わいがつくれるとのことでした。「暑熱適応まちづくり」をキーワードに「いい日陰を増やしていきたいと思います」。

暑さは、熱中症のリスクが高くなることと同時に、外出や外遊び等の「機会の損失」につながる



都政
NOW
区市とつなぐ